

令和2年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「臨時休業中におけるオンラインの効果的な活用」 羽生市教育委員会・羽生市立手子林小学校

羽生市教育委員会では、臨時休業期間中、指導主事が各学校を直接回り、タブレット端末のセキュリティを調整し、Zoom 会議や YouTube の動画配信が行えるようにした。Zoom と YouTube のメリットと今後の活用の可能性を以下のように示し、使い方についても各校からの求めに応じ、実践のサポートも行った。市内の学校では、先進的に活用を進める学校が多数あった。

【市内各校に示した Zoom と YouTube のメリットと今後の活用の可能性】

⇒Zoom が使えるようになることのメリット

- ・教師の自前の通信機器ではなく、市としてテレビ会議の通信網を整えることで、活用の範囲を広げることができる。
- ・教師対子どもだけではなく、市内 14 校がつながって会議をすることが可能になった。集まらなくても簡単な会議はできる。例：臨時校長会
- ・コロナ禍に関係なく、遠隔授業の可能性が広げられる。ゲストティーチャーとして依頼しやすくなる。現在の TV 会議システムよりも簡単かつ汎用性が高い。

⇒YouTube を使えるようになることのメリット

- ・学校からの発信手段として、手紙だけでなく動画という選択肢が増えた。
例：1 年生へ 1 日の流れを示す動画や学校探検動画 担任からの応援メッセージ
課題に出している問題解説動画 植物の生長記録
- ・臨時休業後も学校の発信ツールとして、肖像権等に配慮しながら活用することができる。
例：運動会や体育祭の表現（遠目からの全景動画の配信）・林間・修学旅行の様子 等

主な実践としては、ズーム会議による健康観察や YouTube による学習動画の配信が挙げられる。

YouTube による動画配信では、先生からの応援メッセージの配信や宿題で出した課題の取り組み方、入学した新 1 年生に向けた学校案内ツアーなど各校で工夫を凝らした発信が行われた。

Zoom によるオンライン健康観察では、実施された学級の 6 割から 8 割の児童の参加があり、久しぶりに顔を合わせられたことに非常に喜んでいて。また、学級担任も始業式に短時間しか会っていなかったため児童一人ひとりに声をかけることで、長く続く臨時休業の不安を少しでも減らそうとしていた。

また、市内で Zoom 会議システムが整ったことで、市教研の主任会など密を避けたオンライン開催が可能になった。今後、状況に応じて活用を推進していくことが期待される。



オンライン健康観察



校長によるオンライン朝会

6月



オリンピック選手による
リモート授業